

# 情報化社会における人権尊重とは

高等学校

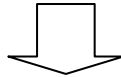
目的 情報化社会において、人権を尊重していくために大切なことについて考える。  
情報化社会の中に生きる自分たちの課題をみつめ、それらにどのように対応すればよいかを考える。

気づく

## 自分の体験や身近なできごとを出し合おう

日常生活の中で情報というものがどのように扱われているか、交流を通じて視野を広げる。

インターネット、携帯電話、カード等の功罪について考えてみる。  
教科「情報」で扱った資料

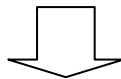


広げる・深める

## 新聞等に掲載されたできごとを調べ、情報化社会の良い点や課題について、考えを深めよう

今の情報化社会の中で、それらのできごとは人権とどのようにかかわっているか、班の中での話し合いを通して考える。

著作権や肖像権、知的財産権などに関する事例についても調べてみる。

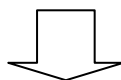


計画する

## 調べたこと、考えたこと、話し合ったことを発表し、人権が尊重された情報化社会にするために何ができるか考えよう

クラスのなかの多様な意見や考え方・ものの見方を共有することで理解を深め、次の実践につなげる。

パソコンでのプレゼンテーションや、壁新聞を作成するなど、いろいろな発表の仕方を工夫する。

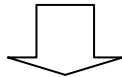


## 実践する

### 「啓発ポスター」や「啓発パンフレット」 などを作成しよう

情報化社会の中で、人権を守るために何をすべきかを考え、発信しよう。知らず知らずのうちに人権を侵害している場合がある。それを防ぐための具体策について考える。

啓発の仕  
方として  
音楽や  
劇にする  
方法も  
ある。

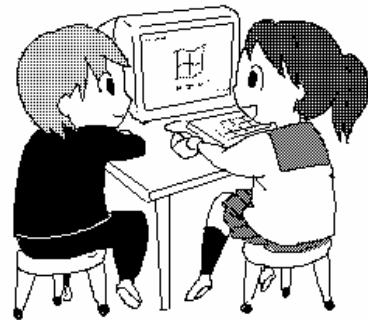


## 振り返る

### 情報化社会での自分自身の生き方を振り返ってみよう

実社会と同様に、インターネット上のコミュニケーションにも守るべきモラルとマナーがあることを確認する。  
必要な情報を選択し、信憑性・信頼性を判断する力を養う。

情報化社  
会におけ  
る教員自  
身の生き  
方を紹介  
する。



#### 【学習を進めるにあたって】

- ・ 情報化社会のプラス面とマイナス面の両方に光をあて、マイナス面にばかり偏らないように留意する。
- ・ 情報活用能力（メディアリテラシー）を身につけさせることを意識しながら進める。
- ・ 「情報公開」と「個人情報保護」とは密接な関係にあり、両方とも大切であることを理解させる。
- ・ 滋賀県個人情報保護条例が制定された背景と同条例の要点について学習することもできる。
- ・ 情報化社会に関連する法律等についても参考にすることができる。